

平成 28 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原地区)

開催日時	平成 28 年 11 月 17 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時	天気 雨
場 所	下本村コミュニティセンター	
町民参加者	男 19 人 女 0 人 (40 代以下 1 人、50 代 0 人、60 代以上 18 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、参事兼農林課長、総務防災課長、新東名対策室長、上下水道課長、定住対策課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：災害発生時における町の危機管理の対応について》

○向原地区は、沢が多くあり、酒匂川と尺里川の下流にあたるため、地震や水害が起こった場合の町の対応について。

○阪神淡路大震災の際に聞いた話では、地震がおさまってブレーカーを入れたときに、漏れていたガスに引火して火事になったことが原因である。町としては、広報を通じて呼びかけを行っていくことが重要ではないか。

○救護所について、大きな災害があった時に、そこに医療従事者がいるかないかで全然違う。お年寄りの方等のために、避難所に医療従事者が必ず居てほしい。町から委嘱を行って各避難所に配置してもらうことは出来ないか。

○災害の際に、応援物資が各地域から届くが、捌ききれないで必要なところに物が届かないという事態があった。防災リーダーがいれば改善されるのではないか。

○避難所である山北中学校や山北高校への避難は、今の避難訓練の状況を見ると健康な人しか出来ないように思う。

○避難所である山北中学校や山北高校へペットを連れて避難すると、いろいろと問題があると思うが、それについて対策はあるのか。

○自主避難場所が町から指定されているが、どの場所も遠いため行くことが難しい。避難場所として下本村コミュニティセンターや上本村集会所もあるが、どちらも土砂災害の恐れがあるため、車を持っていない人でも行ける自主避難場所として向原公民館を考えている。行政の方でも応援をしていただきたい。

○町では、例えば健康の6つの柱などいろいろなことを計画しているが、それらの計画について行った結果の効果や今どうなっているか等の発信が全く無い。計画を唱えていくだけで、実際どのような推進を行っているのか知りたい。